

放射収支計 CNR2-L10



特徴

- 長波放射・短波放射をそれぞれに同時測定
- 高信頼性・高耐候性
- 蒸発散量や放射バランスの測定

本センサーは、短波放射および長短波放射をそれぞれ独立して、2つの放射収支量を測定することが可能です。ガラスドームとシリコンウインドウにより、2つの異なるサーモパイルから微小信号を出力します。蒸発散量や放射バランスの測定に最適です。

仕様

放射収支計 CNR2-L10	
出力信号数	短波放射・長波放射 2出力
感度	約 10~15mV/kw・m ² ※機種毎に検定値付属
応答速度	10sec 以下 (95%)
温度特性	約 5% (-10~40℃)
非直線性	約 2%以下
波長範囲	短波放射：310~2800nm 長波放射：4.5~42 μm
視野角	短波放射：180° 長波放射：150°
動作温度範囲	-40~80℃
寸法	本体：約 70W×195L×36H(mm)
重量	約 350g
出荷時指定	ケーブル長：標準 10m 5m 単位で指定可能 例： <u>CNR2</u> - <u>L20</u> 型名 ケーブル長 20m

※本製品は、Kipp&Zonen 製です。

Cat.No.100102FP